

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 医療機関 電話番号：058-272-1111(内2663)
支援第一係・医療機関支援第二係

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,291,441 千円 (現計予算額： 11,821,906 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	11,821,906	11,821,906	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,291,441	5,244,859	0	0	0	0	0	0	46,582
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・まん延期に耐えうる医療提供体制の充実・強化のため、新型コロナウイルス感染症患者のうち、軽症者又は無症状者を受け入れる施設を各圏域において計13施設確保してきた。
- ・令和4年度も再流行する可能性を踏まえ、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

(2) 事業内容

- ・新型コロナウイルス感染症患者のうち、軽症者や無症状者を受け入れる施設を運営し、必要な医療体制を構築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10

県 10 / 10 (交付金対象外分)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	7,980	勤務医師への謝金
旅費	-1,194	県職員等の施設への移動の際の経費（委託対応による減）
需用費	-173,572	事務局運営に係る消耗品費等（委託対応による減）
役員費	-4,104	診療所及び施設用に参加する保険等（委託対応による減）
委託料	4,192,587	医療人材人件費、施設運営費等
使用料	1,269,744	施設借上げ経費、軽症者等の搬送車両借上げ経費
合計	5,291,441	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・「第7波」感染急拡大継続への対応～岐阜県BA.5対策強化宣言～

（2）国・他県の状況

- ・Withコロナに向けた政策の考え方（R4.9.8）
- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R4.9.8）
- ・BA.5系統への置き換わりを見据えた感染拡大への対応（R4.7.15）

（3）後年度の財政負担

今年度の実施事業に基づき次年度の財政負担は生じない予定。
次年度の事業実施は、国の方針に基づき決定する。

（4）事業主体及びその妥当性

「「第7波」感染急拡大継続への対応～岐阜県BA.5対策強化宣言～」に位置付けており、県が主体的に取り組む課題である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症患者のうち、軽症者や無症状者を受け入れる施設を確保し、必要な医療体制を構築したうえで、受入れ業務を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 ○第2波までに5圏域で1施設ずつ、第3波を受けてさらに岐阜圏域で1施設の計6施設を借り上げ、計603室を確保した。 ○4月の第1波では岐阜圏域の1施設、7～8月の第2波及び11～3月の第3波では岐阜圏域の1施設及び東濃圏域の1施設においてそれぞれ軽症者等を受け入れ、計1,376名に入所いただいた。
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	国及び県による、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の方針に基づき、引き続き宿泊療養施設を確保する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	感染拡大時も、軽症者や無症状者が自宅以外で療養する機会を十分に提供できている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	国が定める手順に基づき、適切な規模で実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 過去に例がない未曾有の情勢となっていることから、国等の動向を的確に踏まえ、柔軟に対応していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】